

① 自閉症についての勉強をする前は、正直、自閉と書くので

自分から閉じこもっちゃって困った人のことかなとおもっていたけれど、先生のお話、光とともに、そして今日のお話で、生れ付で自分の意志でなったわけではないと知り、何も知らないで字だけで考えていた私はとても恥ずかしくなりました。

よく人が言っている言葉が上手に頭で変換されなくて、癩癩をおこす、というのがあってどういうことかわかっているつもりだったけれど、体験させてもらって思っていた以上にわからなくて驚きました。

でも、言葉ではわからなくてもそれを示す絵があるとすごい分かりやすくていいなと思いました。

普通の人ならばぱっとできる動作や行動も、上手にできなかつたり、時間がかかってしまう時にかかる言葉をもっと考えなくてはいけないとも思いました。

自分なりに頑張っている人にたいして頑張れといっはいけないし、時間制限を作って時間に縛りつけてもいけないとも思いました。

守らないといけない時間もあるだろうけれど、できるだけ自由な時間が必要なのだとわかりました。

一人ひとり感じることや思うこと、得意、不得意なことはあるので、その子その子に会うやり方で教えたりすることは、本当に良くて、どの子もすごい愛されていていいなと思いました。

自閉症は治ることはなくても、やり方などによってできることは増えるとも思いました。

癩癩をおこしたりするとき、何か必ず原因や理由があるので、おこったりいやな顔をするのではなく、根本から考え、少しでもその人の気持ちなつて物事をとらえられる人になりたいです。

② 説明がすごくわかりやすくて自閉症について深く知ることができました。

自閉症とダウン症は同じ発達障害だと思っていたけれど、まったく違うと知ることができました。

発達障害のある有名人には大スターがいると知った時はすごく驚きましたが、障害があるのではなく才能があるのだと感じました。

文字が読めなかつたり字がかけないから他でカバーしてできることを伸ばして才能になるんだなあと思いました。

お母さんたちはすごく明るくて驚きました。

もし自分のこどもが障がいを持って生まれてきたらと考えると、これからどうやって人生を過ごしたらいいんだろうとか、子供の人生はどうなるんだろうなどと、マイナスに考えてしまうと思います。

ですが、お母さんたちは暗い顔をせずに明るく笑顔で楽しんでいて私まで笑顔になり元気をもらいました。

お母さんたちもきっと悩んだりくるしんだりしたと思うけれど、どんなこともプラスに考えていてきつとこどもさんものしいだろうなあと思ったし、不安なくあんしんして自分のありのままの姿でいられるのかなあと感じました。

障がいがあるからと言って私たちと違うわけでもないし、逆に私たちよりもすごく心がきれいで素直な気持ちをもっているんだと思いました。

小中のときに、自閉症の子がいたけれど、この体験をしてその子の気持ちがわかりました。もっと早くこの体験をしてその子と接したかったと思いました。

- ③ 今回話を聞いて人はみんなおなじじゃないし、ひとりひとりちがうとらえかた、見え方、聞こえ方があるんだと改めて感じました。

あるものの一部しか集中して周りが見えないという場面もあるんだ、と初めて知りました。私は自閉症は正直自分を閉じるので自閉症だから、笑わない子、だと思っていました。でも、、まったくちがって、ただ人と少し違うだけ。

話ができない子には、絵カードを作ったり、アプリなどをうまく利用して会話をしたりとすごく工夫されていて自分にはあんなすごい絵カードをつくれないうし、作って会話をしようという発想がなかったので本当にすごいなと思いました。

こどもが周りの子と違うと親の育て方が悪い、愛情が少ないから、などととらえられてしまうのはやはりおかしいなと思った。

歌を聴いてすごく感動しました。ひとりひとりちがうのは悪いことじゃないってことを改めてわかりました。

私みたいに自閉症をかんちがいしてたり、知らなかったりするひともいると思う。

また、偏見や差別などしてしまう人もいるかもしれない。

だからこそ今回の講演をもっといろんな人に見てもらいたいなと思った。

もっともっと自閉症というものがみんなに知ってもらえたら、いいのになと思いました。

ひとりひとりみんな違うんだと改めて感じさせられ、考えさせられる講演でした。

- ④ 光とともにを読んで自閉症は1000人にひとり、と思っていたのだけど

100人に一人というのがとても驚いた。

絵カードを本当に使っているのだなあと考えた。

自閉症の人は変なんじゃなくて、感じ方が違うというのがよくわかった。

がんだらむじむじといわれても、何のことか全然わからなかったけど

写真や絵をみればすぐに理解できた。

言葉が分からない外国人の人とコミュニケーションをとるときにジェスチャーをして伝えるのとおなじように、言葉よりも形として目に見えるものの方がわかりやすいし、安心するのだと思った。

お母さん方の自分の子供の紹介をするときの、表情や言葉は自分の子供をととても大切に

思っているのが伝わってきた。最後の歌はとても感動でした。  
色々な感じ方をする人がいて、ひとりひとり違うことに改めて気付かされた。  
その人らしさや感じ方を大切にできる人がたくさんいる社会にしていきたいと思う。

- ⑤ 自閉症の人のことを理解することはなかなかむずかしいけど、今日の講演で少しは理解することができてよかったです。

鶴をおることや言葉の理解は普通にしていればできるのに、軍手をしたり、周りに声をかけられたりするとできなくなってしまって、いやになってしまいました。

ちょっと個性があってことその人なりのやり方がある。それを見つけて工夫するということが大切なのだと思いました。最後のうたも心にとっても響いてきて、家族にありがとうっていいくなりました。これからもたくさんの人との出会いがあると思うので、出会いを大切にしていっしょに自分も成長していけたらいいなと思いました。

- ⑥ 光とともにと本当に同じ感じなんだなと思いました。

おかあさんの発想力が豊かなことがすごくわかりました。悩んで苦労してたどり着いたのだと思うけどひとりひとり好きなことが違ってできないことも違うから育てていくのが大変で、私だったらどうするかと何度も思いました。

折り紙をしたときも、やりたいのにできない状況で泣き叫びたい衝動にかられました。

光とともに泣いていたのはこういうことなのだとわかったし、

ガンダラも言ってることを繰り返したり言っている事ができないのは何を言っているかわからなくてカードや絵を使うとできるということがよくわかりました。

体験、講話、すごくためになりました。

- ⑦ 発達障害がより身近に感じられて他人事ではないと思ったし理解が深まった。

おりがみではわかっているのに、指が思うように動かなかったり、頑張ってるのに頑張れって言われてすごく焦った。言葉が理解できない体験は全く理解できなくてカードを見せられた時の「あー！」って感じがすごいありました。

ほんとに分からない子たちはこんな気持ちなのかなって少しわかったような気がしました。

体験して理解するってすごい大切なことだなと思った。

カードを見せたりする発想力やこどもたちひとりひとりにあったやり方を見つけていくのってすごく大変なことだと思うけど、それをやっているお母さんたちは相当な苦労と努力をしているのかなと話を聞いていて感じた。最後のメッセージの中でわたしたちと同じ町に、同じように、一緒に生活しているんだよってところであ、自分たちはもっともっと色々な人たちのことを考えて生活していくべきだなと

改めて思った。

歌の歌詞には、すごい深いメッセージが込められていて、環境は違うけれど私の両親もこんなふうに分ってくれてるのかなとうれしくなったし、子供から勉強させられるって聞いて親子で一緒に成長していくことって素敵だなって強く感じた。